

「青森・小樽ワンナイトクルーズ」に参加して

美野本様ご夫妻

(乗船コース：青森・小樽ワンナイトクルーズ)

「ぱしふいっくびいなす」の就航20周年を記念してのモニターに応募して1組2名に選ばれて参加させていただくことになりました。

私ども夫婦は結婚25年を向かえ、また、私自身も還暦になり記念の旅行をさせていただきました。



当日の午前中に青森港に到着。

昼食のために入った、青森県観光物産館アスパムから、停泊中の「ぱしふいっくびいなす」を見て、これからのクルーズがとても楽しみになりました。

午後4時に新中央埠頭に向かい、乗船前にクルーの温かいお迎えを受けて、緊張していた初めてのクルーズの不安も一掃されました。

出港セレモニーに保育所の子供のヨサコイの踊りに送られて、紙テープが風になびく中、船は離岸し、船上でセレモニーの「ダイアナ」の生演奏を聞きながら、シャンパンを頂き、ワンナイトクルーズは始まりました。





船内見学ツアーに参加した後、7階のメインダイニングルーム「プリマベラ」にて夕食のフルコースディナー（人生お初）を味わい、普段訪れるレストランより上質のサービスを堪能いたしました。

優雅な時間が流れる中、クルーズ参加者の方のバースデイソングやケーキのプレゼントがあったり、また、別の方の記念のセレモニーがあったりと、あっという間のディナーでした。



その後ビンゴ大会が始まり、外国人クルーの司会、悠長な日本語で大会を盛り上げていただきました。私共は、船の碇の形のブローチを頂きました、今回のクルーズのとても良い記念品になりました。（特に妻には）



フィリピンシンガーによるジャズコンサートが始まり、クルーズの夜はさらに盛り上がり、ダンスタイムでは、時間（年齢）を忘れ楽しい時間がすごせました。ピアノコンサートはこころ静めるような音楽が続きました。

やがて部屋に戻り、まるで遊びつかれた子供のようにグッスリ眠れました。

翌日は朝6時に起床し、8階のボートデッキ1周約330mを散歩。船上での潮の香りを満喫し、程よい汗もかいたので、11階の展望風呂に行くと船は積丹岬を通過しカムイ岬を眺めながら入浴しました。



7時になり7階のプリマベラに向い、海に光る日差しがまぶしい中、2種類の朝食（和食＝給仕・洋食＝バイキング）から和食を頂きました。

食事後のコーヒーの香りが余韻を引く朝食は終わりました。

やがて船は小樽港沖まで進み、晴天の小樽を一望し、港に入港しタグボートに押され接岸しました。長いようで短い、短いようで長い、いい旅を演出して頂き、記念のとてもいい旅が出来ました。

